

団体名	一般社団法人隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会
所在地	島根県隠岐郡隠岐の島町中町目貫の四61番地
団体の目的	隠岐地域の関係者と相互に連携し、教育を基盤とした隠岐地域の活性化を図り、持続可能な地域社会の発展を目的とする。
活動地域	隠岐地域(隠岐の島町、西ノ島町、海士町、知夫村)
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	住民一人一人が隠岐に対して誇りと愛情を持ち、協力し持続可能な隠岐の発展を目指す地域
地域の現状・課題	<p>隠岐諸島は、後鳥羽上皇や後醍醐天皇が配流となった歴史的背景や大山隠岐国立公園に指定された雄大な自然環境によって観光地として賑わってきたが、1970年代の離島ブーム以降は隠岐を取り巻く環境は年々悪化の一途をたどってきた。</p> <p>2003年頃からエコツーリズムによる地域振興、更にはジオパークという手法を活用した地域振興の気運が高まり、2009年に島根県と隠岐4町村の行政、観光団体、商工団体、NPOなどによって構成された「隠岐ジオパーク推進協議会」を設立した。日本ジオパーク認定、世界ジオパーク認定とともに、学校教育、社会教育を基盤とした保全・保護活動の推進による観光振興を主体とした経済還元の仕組み作り、ジオパークを活用したブランド化による地域産品の販売促進に取り組んできた。</p> <p>観光を基軸とした持続可能な隠岐地域の実現によって、地域循環型社会の構築とユネスコジオパークとしての義務でもあるSDGsの実現に向けた事業計画の策定が求められている。</p>
地域が持つ資源	<p>隠岐ユネスコ世界ジオパークの地域資源を3つのテーマで紹介している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本海や日本列島の成り立ち、地球規模の環境変化や地球の内部を知ることのできる地質資源。</li> <li>・北方系、南方系、大陸性、高山性の植物が海岸の低地で共存する不思議な植物分布。</li> <li>・黒曜石を媒体とした、遥か3万年前から続く隠岐の歴史文化。</li> </ul>
取組内容	隠岐の地域資源を活用した学校教育、社会教育の推進により、地域資源の保全・保護意識を高める。また、地域資源の保全・保護を基盤とした観光振興の推進によって持続可能な発展を目指すための基本計画の策定と事業を実施する。
地域循環共生圏を実践することで想定される効果	<p>(環境) 保全意識の向上によるゴミ産出量の抑制及び外来種駆除の推進。</p> <p>(経済) 観光地域づくりにより、観光消費額の拡大、雇用創出、地域内調達と地産地消による経済循環システムの構築。</p> <p>(社会) 誇りと愛情を持って隠岐を伝え、協力しあい共存する社会の構築。</p>